

令和4年度 第3回技術研修会のご案内

日 時	令和4年11月9日(水) 13:30～16:30
会 場	アバンセホール(佐賀県立生涯学習センター) (佐賀市天神3丁目2-11 TEL 0952-26-0011)
主 催	公益財団法人 佐賀県建設技術支援機構
後 援	佐賀県、(一社)佐賀県建設業協会、(一社)佐賀県県土づくりコンサルタンツ協会
テ ー マ	「佐賀平野の治水・利水対策」
研修項目	(1) 13:40～15:00 「佐賀平野の治水・利水対策の現状～嘉瀬川ダムと佐賀導水路から考える～」 国土交通省 九州地方整備局 佐賀河川事務所 技術副所長 中山 雅文 氏 <p>佐賀平野は急峻な山地と干拓等で形成された広大な平野が特徴であり、日本一の干満差を持つ有明海に面していることから、満潮時には海面よりも低く洪水被害や内水被害が生じやすい地形となっています。また佐賀平野は干拓により山地から形成される一般的な平野より広い面積を持っており、濁水が発生しやすい特徴があります。 国土交通省ではこれまで嘉瀬川ダムや佐賀導水路などの治水・利水対策の施設を建設してきましたが、それぞれの施設には利点や欠点もあり、施設の特長を活かし、ハードとソフトの両面で治水利水対策を行っている現状を紹介します。</p>
	(2) 15:10～16:30 「低平地河川における流域治水の取り組み ～新・六角川水系流域治水プロジェクト～」 国土交通省 九州地方整備局 武雄河川事務所 所 長 阿部 成二 氏 <p>国土交通省は自然災害から国民の命と暮らしを守るため「総力戦で挑む防災・減災プロジェクト」を策定し、その中で河川においては従前からの河川管理者による対策に加え、流域のあらゆる関係者で対応する「流域治水」に取り組んでいます。 一方、六角川に代表される低平地河川は内水氾濫の発生頻度が高いことから、従前の外水氾濫対策中心の河川管理(広義)では真の水災害対策とはなりません。 そこで六角川では、国県市町が協同で流域の水災害特性に特化した「新・六角川水系流域治水プロジェクト」を取りまとめ、実践段階に入ったことから、プロジェクト策定過程等も含め取り組みを紹介します。</p>
対 象 者	地方公共団体等職員、建設事業関係者(県内優先)、一般の方(大学生以上)
定 員	150名
参 加 料	無 料
申込方法	当機構のホームページ(https://www.sagacat.or.jp/gijyutsukensyuu.html)よりお申し込みください。 1社につき2名 まで受け付けます。 <u>『研修情報』→『技術研修会』→『令和4年度第3回技術研修会申込』をクリック!</u>
申込期間	令和4年10月17日(月)14:00～令和4年10月28日(金)17:00 (定員になり次第締め切り。定員に満たない場合は次の期間に追加募集を実施。) 令和4年10月31日(月)14:00～令和4年11月2日(水)17:00 予定
問合せ先	(公財)佐賀県建設技術支援機構 技術部 企画情報課 TEL 0952-97-5596
そ の 他	(1)車でご来場される場合は、会場敷地内の駐車場をご利用下さい。 (2)座席は全席指定席となります。

※本研修会は、(一社)全国土木施工管理技士会連合会CPDS(3ユニット)、(一社)建設コンサルタンツ協会CPD(2.66CPD単位)の認定プログラムに承認されています。